

『周産期医学』バックナンバー

				* (本体価格)
第51巻	第7号 (2021年7月)	特集	理論と実践—新生児蘇生 NCPR2020 を読み解く—	(2,900 円)
	第8号 (2021年8月)	特集	在胎 22 ~ 23 週の超早産をめぐる課題と展望	(2,900 円)
	第9号 (2021年9月)	特集	胎児超音波診断を活かす —産科医と新生児科医からの情報提供—	(2,900 円)
	第10号 (2021年10月)	特集	新生児医療における ME 機器 —正しい使い方とトラブルシューティング—	(2,900 円)
	第11号 (2021年11月)	特集	産科医療における ME 機器 —正しい使い方とトラブルシューティング—	(2,900 円)
	第12号 (2021年12月)	特集	ワクチンの進歩と重要性	(2,900 円)
	臨時増刊号		周産期医学必修知識 第9版	(13,000 円)
第52巻	第1号 (2022年1月)	特集	周産期のステロイド	(2,900 円)
	第2号 (2022年2月)	特集	母体救急医療・母体救命の進歩	(2,900 円)
	第3号 (2022年3月)	特集	生殖補助医療の進歩と周産期医療	(2,900 円)
	第4号 (2022年4月)	特集	Late preterm・Early term を展望する	(5,000 円)
	第5号 (2022年5月)	特集	知っておくべき周産期・新生児領域の遺伝学的検査を 展望する	(2,900 円)
	第6号 (2022年6月)	特集	メンタルヘルスの視点からみた COVID-19 感染の影響と その対応	(2,900 円)
	第7号 (2022年7月)	特集	周産期と最先端サイエンス	(2,900 円)
	第8号 (2022年8月)	特集	見て、聞いて、触って、身体所見から考える 妊産褥婦の異常とその対応	(2,900 円)
	第9号 (2022年9月)	特集	多胎児と家族への支援に取り組もう	(2,900 円)
	第10号 (2022年10月)	特集	見て、聞いて、触って、五感で診る 新生児の異常とその対応	(2,900 円)
	第11号 (2022年11月)	特集	成育基本法と医療的ケア児等支援法に基づく育児支援	(2,900 円)
	臨時増刊号		191 の疑問に答える周産期の栄養	(9,500 円)
	第12号 (2022年12月)	特集	Controversies in perinatology 2023 産科編	(2,900 円)
第53巻	第1号 (2023年1月)	特集	Controversies in perinatology 2023 新生児編	(2,900 円)
	第2号 (2023年2月)	特集	少産時代に対応する「働き方改革」と医療施設	(2,900 円)
	第3号 (2023年3月)	特集	妊産婦死亡の現状と削減に向けた対策	(2,900 円)
	第4号 (2023年4月)	特集	How to Follow-up ハイリスク児フォローアップの 必修知識 2023	(5,900 円)
	第5号 (2023年5月)	特集	今、改めて考える、流産、死産、新生児死亡	(2,900 円)
	第6号 (2023年6月)	特集	周産期医療のヒヤリ・ハット —医療事故・医療紛争を防ぐために 産科編	(2,900 円)
	第7号 (2023年7月)	特集	周産期医療のヒヤリ・ハット —医療事故・医療紛争を防ぐために 新生児編	(2,900 円)
	第8号 (2023年8月)	特集	数値からみる周産期医療 産科編	(2,900 円)
	第9号 (2023年9月)	特集	数値からみる周産期医療 新生児編	(2,900 円)

ご注文 (発行後 1 年以内) :

株式会社東京医学社 販売部

Tel : 03-3265-3551 (代) Fax : 03-3265-2750

E-mail : hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

URL : <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>



内容についてのお問合せ :

株式会社東京医学社 編集部

Tel : 03-3237-9113 Fax : 03-3237-9115

E-mail : shusanki@tokyo-igakusha.co.jp

なお、発行後 1 年を経過したバックナンバー
のご注文・在庫照会は下記までご連絡下さい。

株式会社文栄社

Tel : 03-3814-8541 Fax : 03-3816-0415

URL : <https://www.bunneisya.co.jp>